

雪山登山 日光白根山 報告書



【山域】 栃木県、日光市

【場所】 日光湯元温泉スキー場～白根沢～奥白根山

【行動日】 平成 31 年 3 月 2 日～3 日

【参加者】 C L 佐藤（健）、齋藤（健）、上荒磯（会員外）、尾崎（記録）

【行程】

（歩行距離）10.7km、（累積標高）上り 1351m、下り 1371m、（最高斜度）39 度

3/2 4:00 千葉市内発 — 8:10 湯本温泉スキー場着 — 9:00 出発 — 11:48 天狗平 —
13:30 前白根山 — 14:00 五色沼避難小屋 — 14:15 五色沼着 — 14:55 テント場着

3/3 6:25 出発 — 8:15 奥白根山山頂着 — 9:30 五色沼避難小屋着 — 大休止 —
10:40 出発 — 11:25 前白根山 — 12:25 天狗平 — 13:50 湯本スキー場リフト上 —
14:15 ビジターセンター着

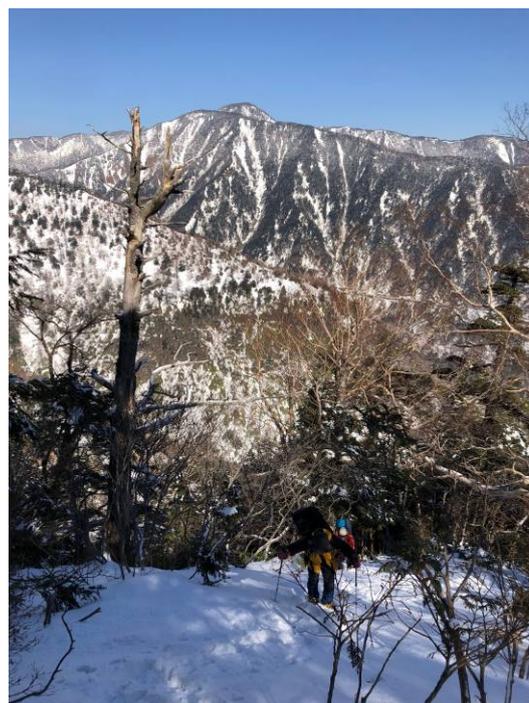
【内容】

今回は S リーダーのお声掛けで日光白根山に登ってきました。3月2日4時に千葉市内を出発し、途中、佐野 SA で朝食休憩。8:10 に登山口となる湯元スキー場に到着しました。準備を済ませ、ゲレンデリフトの始発となる9時に出発。今回私は初めてビーコンを

装着させて頂きましたが、ベテランのSさんが丁寧に教えてくれました。



【① 出発時リフト乗り場にて】



【② 出発から急登が続く】

出発口のゲレンデからリフトで標高を 200m 程上げ、1680m から登山開始ですが、いきなり急登のお出迎えです。アイゼンとストックを駆使しながら一歩ずつ確実に進んでいながらも、アイゼンの前爪にしか体重を預けられない程の狭い箇所もあり、ふくらはぎの筋肉にかなり効いてきます。



【③ 奥白根山をバックに】



【④ 前白根山からの下降中】

外山コル、標高 2160m 時点にてようやく急登は終わり、緩やかなアップダウンの繰り返しとなりますが、途中のピークに着くと奥白根山がその全容を見せてくれました。空はドピーカン、百名山に名を連ねているその威風堂々とした姿はまさに圧巻で、奥白根山を

バックに記念写真！小休止を取り、青空の下、奥白根山のその雄姿を思う存分堪能しました。



【⑤ 眼下には五色沼が見える】



【⑥ 五色沼避難小屋に到着】

しばらく歩くと前白根山に到着し、そこから五色沼避難小屋のある鞍部まで下って行きます。稜線上の登山道を歩いていると眼下に純白の雪原の中にひっそりと佇む凍結した五色沼が見えました。前白根山から30分程下ると五色沼避難小屋に到着します。中は二段ベッドとベンチが設置されていましたが、今回はテント泊装備だったので、避難小屋前にテントを設営。その後、荷物をテントにデポし、五色沼まで散策しました。



【⑦ 五色沼には山々と自分達だけ】



【⑧ 五色沼からの奥白根山】

五色沼は前白根山と奥白根山に囲まれ、360度が山、山、山。無風、無音、快晴。そこにあるのは雪化粧した山々と純白の五色沼と私達だけ。本当に贅沢な時間でした。テントに戻り夕食タイム。夕食ではSリーダーがなんと牛タンを用意してくれていました！山の中でこんなご馳走を頂けることに感謝×2！柔らかくて美味しいお肉を夢中で頬張ってしまいました。外は冬山とは思えない程穏やかで、山の間から覗かせる空には星が瞬き、ゆっくりと夜は更けて行きました。



【⑨ 2日目の出発時】



【⑩ アタック前の小休止】

起床後、朝食を済ませ、6:25に出発。樹林帯の中を緩やかに登っていきます。樹林帯を抜けると雪と氷の急斜面が立ちはだかります。頂上まで続く最後の急登です。トレースも殆ど消えていた為、Sリーダーが要所々に赤旗を立てていってくれました。ガチガチ、フカフカ、幾度となく変化する雪質、気を緩めると足を取られ転倒しそうになります。緊張する場面もありましたが、随所々々でSリーダーから丁寧な助言があり、安心して登って行く事が出来ました。



【⑪ 急登をトラバース】



【⑫ 山頂直下の急登】

山頂直下の急登の途中、傾斜が非常にきつくなり、アイゼンの歯も殆ど効かない程の核心部と思われる箇所です。Sさんは自己判断でここで折り返し、残ったメンバーも再度気を引き締めて頂上を目指します。

頂上に近づくと強烈な風が頬に叩きつけます。急登を登りきった後は火口を迂回して、標高 2578m の奥白根山山頂に到着しました。



【13】 背後には雲海に浮かぶ男体山】



【14】 奥白根山 山頂】

記念撮影と小休止を済ませた後、下降を開始しました。帰りはさらに緊張した場面の連続で、四つん這いになってクライムダウンをしたり、ガチガチに固まってアイゼンの歯が効きにくい急斜面をトラバースしたり、バランスを保ちながらゆっくりと歩を進めて行きます。だだっ広い氷と雪の斜面の下降のルートファインディングには、登攀時に雪面に差しておいた赤旗が良い目印となってくれました。



【15】 慎重に一步ずつ下降】



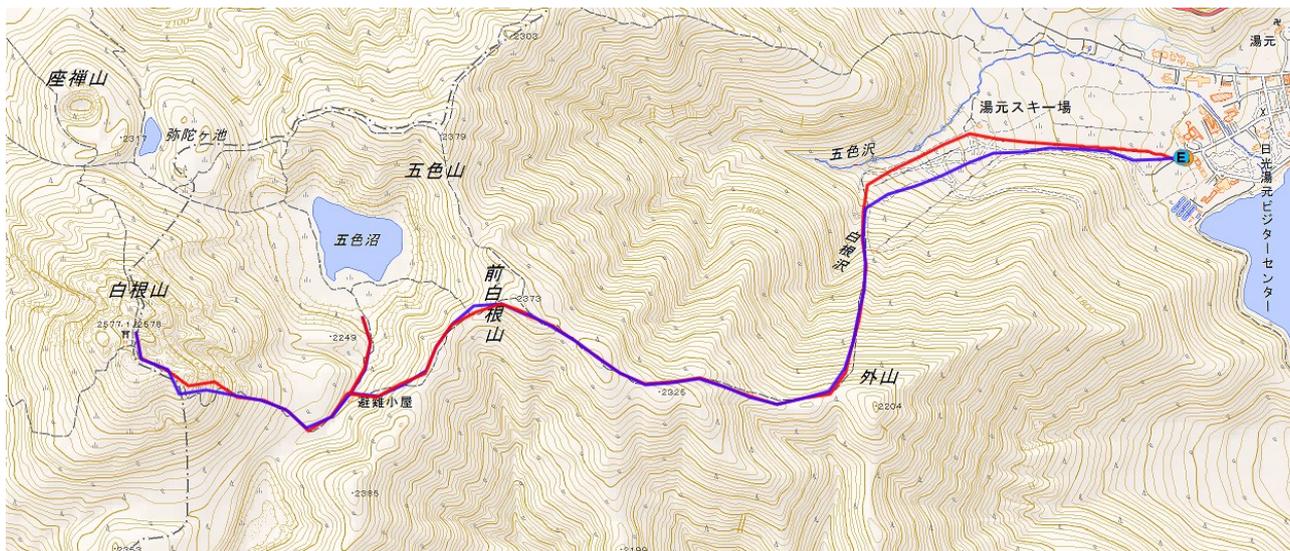
【16】 奥白根山を後に】

急下降を終え安全地帯まで降り、テント場まで戻ってSさんと再会。大休止した後、テントを撤収し再出発。前白根山付近の稜線上を歩いている最中、ガスが立ち込めて来て、奥白根山は私達の前から忽然と姿を消してしまいました。

その後は来た道に戻り、最後はゲレンデを歩き、湯本スキー場ビジターセンターに到着。無事に下山することができました。雪山経験の少ない私でしたが的確に助言をしてくれたSリーダーはじめベテランSさんや紅一点のKさんのおかげで終始安全・安心な登山とすることができました。天気もコースも、そして最高のメンバーでこの上ない極上の二日間を送らせて頂きました。

お疲れ様でした。ありがとうございました。

【登山ルート】



(記録：尾崎)